

# 燦々

SANSAN  
光り輝く

JAとまこまい広域広報誌  
燦々光り輝く  
No.280



編集・発行

〒059-1603  
JAとまこまい広域本所  
TEL 0145-272241 FAX 0145-273941  
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

令和8年5月10日  
ホームページアドレス <http://www.ja-tomakomai.co.jp>  
メールアドレス [info@ja-tomakomai.co.jp](mailto:info@ja-tomakomai.co.jp)

印刷 株式会社須田製版

## JA からのお知らせ

News & Topics from JA

### JA 日誌

#### 2026 5月

- 16日(土) 苫小牧消費者協会通常総会
- 17日(日)
- 18日(月) 広域課長係長研修
- 19日(火)
- 20日(水) 第4回企画会議
- 21日(木) 4地区組合長会議(札幌)
- 22日(金) 第1回営農支援協議会
- 23日(土) 北海道ブラック&ホワイトショー~24日 穂別町民植樹祭
- 24日(日)
- 25日(月) 第1四半期事業ヒアリング
- 26日(火) 第1四半期事業ヒアリング 厚真町獣魂慰霊祭
- 27日(水) 厚生連 第2回理事会 第2回農業振興本部全体会議
- 28日(木) 苫小牧観光協会総会 日胆営農課課長会議
- 29日(金) 胆振管内施策推進会議 経済事業与信ヒアリング
- 30日(土) 北海道畜産公社 獣魂慰霊祭
- 31日(日)

#### 2026 6月

- 1日(月) 厚真支所経営所得安定対策・出荷契約受付 ~5日 広域農業振興対策協議会(白老)
- 2日(火) 4地区常参会議(札幌)
- 3日(水) 4地区専務会(札幌)
- 4日(木) 日胆組合長会議・組合長会議・各作物別合同会議 第2回 共済連運営委員会
- 5日(金)
- 6日(土) 白老牛肉まつり ~7日
- 7日(日)
- 8日(月) JA共済一斉推進 ~9日(穂別)
- 9日(火) 新規就農者激励会 第4回監事会 第6回理事会
- 10日(水)
- 11日(木) ホクレン肉牛市場
- 12日(金) ホクレン乳牛市場 本所オフサイトミーティング
- 13日(土)
- 14日(日)
- 15日(月) 支所の日

### 職員異動

お疲れ様でした 依願退職 4月30日付  
 苫小牧支所 **桜井 利之** 平成4年8月1日 入組  
 旧苫小牧市農協：金融部貯金共済課貯金共済係、金融部融資課融資主任  
 JA合併後：苫小牧支所管理金融課管理融資係長、苫小牧支所金融課金融係長、苫小牧支所金融共済課貯金共済係長、白老支所金融共済課金融共済係長、苫小牧支所金融課金融係長、苫小牧支所総合渉外課共済係長、苫小牧支所金融課長補佐、金融部貯金課長補佐、白老支所金融共済課長、苫小牧支所金融課長、白老支所金融共済課長、追分支所金融共済課長、苫小牧支所金融共済課調査役

### お詫びと訂正

前月発行の4月号、12頁に掲載しました大型連休について、ATM ホクレンショップしらかば店における土日営業時間について誤りがありましたのでお詫びの上訂正させていただきます。正しくは9:30~17:00となります。  
 また、14頁に掲載しましたJAバンク手数料の改定について、住宅ローン手数料に誤りがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。正しくは、全額繰上償還については55,000円、一部繰上償還については11,000円となります。

### お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。

月日	地区	氏名	享年
4/8	厚真町	宮崎 義一さん	98
4/20	厚真町	小山 信一さん	86

### ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(5月)

令和8年4月16日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	32	863,688	1.264	2,394
	雌	11	720,091	1.093	2,141
早来	去勢	30	854,133	1.184	2,385
	雌	20	728,650	1.039	2,191
厚真	去勢	19	855,737	1.190	2,293
	雌	20	738,950	1.082	2,166
種別	去勢	17	833,471	1.137	2,492
	雌	18	718,389	1.021	2,185
追分	去勢	7	866,000	1.283	2,238
	雌	3	724,667	0.962	2,325
とまこまい広域	去勢	105	854,781	1.208	2,376
	雌	72	727,472	1.051	2,180
胆振管内	去勢	190	851,074	1.187	2,387
	雌	133	725,827	1.044	2,206
市場計	去勢	908	826,920	1.168	2,401
	雌	627	715,204	1.020	2,274

## 第25回職員研修大会



### 令和8年度新採用職員紹介 JAとまこまい広域におけるアスリート採用の取り組みについて

特集

第25回職員研修大会を開催。

# JAとまごまい広域におけるアスリート採用の取り組みについて

### 【地域からJリーグへ】JAマンと競技の二刀流！デュアルキャリアという考え方／ASC北海道の挑戦

**【ASC北海道とは】**  
日本のサッカーリーグはピラミッド型の階層構造になっており、全国規模のプロリーグである「J1、J2、J3」に続きJリーグへの昇格を目指すセミプロクラブや強豪アマチュアクラブが参加する「JFL」、そして都道府県をまたぐエリア単位で構成される第5階層目の「地域リーグ」、6階層目にアマチュア色が強い「都道府県リーグ」があります。

ASC北海道は2004年に「あつまスポーツクラブ」として厚真町から誕生しました。2010年に女子チームが全国リーグに昇格し、北海道の名前を背負って戦うこととなり、ASC北海道とクラブ名を変更し、厚真町と苫小牧市を拠点に、現在北海道リーグ(地域リーグ)で活動しています。練習会場、ホームスタジアムは浜厚真野原公園サッカー場を利用し、日夜練習や試合を重ねています。

**【JAとのつながり】**  
ASC北海道は、2024年に3年後のJFL参入、5年後のJ1リーグ昇格を公式表明。旗印に掲げる地域と密着した活動を行っていく上での後方支援を担うべく、JAとまごまい広域は少額ではありましたが協賛契約を結びました。

**【アスリート採用について】**  
協賛契約2年目である2025年、ASC北海道は全国的にも異例の大型補強を行い、全国各地より強豪選手を招聘しています。そのような中において、ASC北海道では選手の生活基盤を確

保し、全力でプロを目指す環境づくりの一つとして、厚真町厚南中学校で教員経験のあるGMの徳田恒徳氏を中心に協賛企業へのアスリート採用を進めています。  
JAとまごまい広域では本年度、ASC北海道から2名をアスリート採用することに致しました。選手は昼にJAで働き、夜はサッカー選手として鍛錬を重ね、土日祝日は対外試合等を行っていくことになります。近年JAは人材不足から職員の確保に苦慮しており、若く体の強いASC北海道の選手雇用はお互いの思惑がかみ合った瞬間でした。



選手のストレッチを行う石黒職員

また、アスリート採用には、他にも様々なメリットがあります。将来、当JAで働いた選手が大きく羽ばたいた際の様々な期待値や、選手のセカンドキャリアを考えた場合の選択肢に当JAが生まれる可能性もあります。なにより、地域と一体となって突き進むチームの支えになることは、掛け値なしの企業価値に繋がります。

本年アスリート採用となった2名のうち、関口航汰職員は現在18歳。清水エスパルスユースに所属し、U15、U16の日本代表に選出。ユース所属中にパラグアイ、ブラジルに留学し、鍛錬を重ねてきました。ASC北海道における飛躍が期待されます。関口職員は「選手として有頂天になっていた時期もあり、紆余曲折もあったが自分に声をかけてくれたASC北海道に、そして仕事の場を与えてくれたJAとまごまい広域に感謝しかありません。サッカーは勿論ですが、JAとまごまい広域の業務も持ち前の「燃える心」で精一杯頑張りたい」と話してくれました。

また、石黒瑠職員はASCのトレーナーとしての採用となります。高校まで選手としてサッカーを学び、卒業後は専門学校にて選手のコンディショニングやリハビリテーション、健康管理や傷害予防、応急処置を行う専門家として日夜勉強に励んでいます。「サッカー選手同様、農家の皆さんも体を酷使する職業だと思っています。仕事をしながら、そういった相談も受けられるような関係性を育てていきたい」と決意表明されました。

アスリート採用となった職員は繁忙部署をローテーションする形での変則的勤務体系になりますので、組合員の皆様、叱咤激励の程お願い致します。



練習中の関口職員



## ASC北海道試合スケジュール

日程	対戦内容	開始時間	リーグ名	グラウンド
5/17	ノルブリッツ北海道	14:00	第49回北海道サッカーリーグ 第1節	札幌市厚別公園 陸上競技場
5/24	北蹴会 岩見沢	10:00	第49回北海道サッカーリーグ 2026第2節	浜厚真野原公園 サッカー場

# 燦々

SANSAN  
光り輝く

## No.280 CONTENTS

- 01 特集 新採用職員紹介  
・JAとまごまい広域におけるアスリート採用の取り組みについて
  - 03 カメラレポート
  - 07 令和8年度 春期組合員懇談会主要意見集約(Q&A)
  - 09 理事会報告
  - 10 期待の農力 猪師 歩夢さん
  - 11 新役員と参与紹介
  - 12 退任役員のご挨拶
  - 13 とまごまい広域農業協同組合「機構図」
  - 14 あぐり講座
- 裏表紙 JAからのお知らせ

# 新採用職員紹介

令和8年度

令和8年4月1日、新採用職員の辞令交付及び研修会を開催いたしました。本年は8名の新採用職員が入組しましたのでご紹介いたします。



▲辞令交付後集合写真

### 【厚真支所営農課】

正職員(新卒)  
**福光 颯汰**  
(ふくみつ そうた)



- ①音更町
- ②北星学園大学
- ③ライブ・フェスに行くこと、温泉を巡ること
- ④一日一日を大切に過ごし、多くの経験や知識を吸収して即戦力として働けるように日々頑張りたいと思います。

### 【農産部農産課】

正職員(キャリア採用)  
**佐藤 政幸**  
(さとう まさゆき)



- ①伊達市
- ②伊達高校
- ③ゴルフ
- ④一日も早く業務内容を覚え、組合員の皆さまに信頼していただけるよう取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

### 【農産部そ菜園芸課】

準職員(嘱託)  
**近藤 隆貴**  
(こんどう たかき)



- ①むかわ町
- ②北海道科学大学
- ③散歩・買い物
- ④知らない事ばかりですが、学び、成長して、いち早く皆様のお力になれるよう日々頑張っていきたいと思っておりますのでぜひよろしくお願いいたします。

### 【金融共済部貯金課】

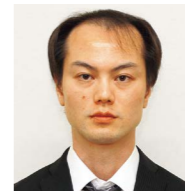
正職員(新卒)  
**井元 伸生**  
(いもと しんせい)



- ①白老町
- ②苫小牧西高校
- ③バスケットボール
- ④高校を卒業してで、何もわからない状態ですが、JAとまごまい広域の職員として挑戦心を持って頑張りたいです。

### 【金融共済部共済課】

正職員(キャリア採用)  
**滝本 宣晃**  
(たきもと のぶあき)



- ①苫小牧市
- ②苫小牧工業高校
- ③バスケットボール
- ④これまでの経験がどれだけ活かせるかは分かりませんが、自分にできることを少しずつ増やし、組合への理解を深めていきたいと思っております。

### 【総合支援課】

準職員(嘱託・アスリート採用)  
**石黒 瑠**  
(いしごろ りゅう)



- ①恵庭市
- ②札幌スポーツ&メディカル専門学校
- ③編み物
- ④少しでも誰かの力になれるように元気に頑張ります!

### 配属先氏名

- ① 出身地
- ② 出身校
- ③ 趣味・特技
- ④ ご挨拶

### 【農産部農産課】

正職員(キャリア採用)  
**菅原 歩**  
(すがわら あゆむ)



- ①清里町
- ②酪農学園大学
- ③旅行
- ④組合員に頼られる職員になれるよう、頑張ります。

### 【総合支援課】

準職員(嘱託・アスリート採用)  
**関口 航汰**  
(せきぐち こうた)



- ①神奈川県横浜市
- ②精華学園高校
- ③サッカー、車、バイク
- ④サッカーとの両立をしながら、JAとまごまい広域の力になれるように全力で楽しく頑張ります。

## 広域 第23回(令和7年度)JAとまこまい広域共励会

平成15年度より実施している共励会表彰は生産組織が整備されている品目かつ、JAの年間販売取扱高が3億円をこえる品目が対象となり、各部門の最優秀者には毎年4月の総代会にて表彰を行っています。第23回となった本年度の表彰式は、全12部門から構成され、耕種8部門と畜種4部門の受賞者がステージへ登壇し堀組合長から表彰状と記念品が手渡されました。

受賞された皆さまにおかれましては、管内の栽培技術や飼養管理技術の高位平準化の模範として今後ますます活躍されますことをご祈念申し上げます。



(敬称略)

### 1 米(高収量の部)

【穂別支所】菊地 英智

面積	1,563a
収量	88,737kg
収量/10a	573.0kg

### 2 米(高品質の部)

【穂別支所】菊地 英智

面積	1,563a
低タンパク収量	79,932kg
低タンパク比率	75.0%

### 3 小麦(秋播小麦・高収量・高品質の部)

【厚真支所】(株)渡部農場

面積	1,679a
収量	114,317kg
収量/10a	681kg
1等比率	100.0%

### 4 大豆(高収量・高品質の部)

【追分支所】(有)武田農園

面積	1,190a
収量	48,840kg
収量/10a	410kg
上位等級比率	72%

### 5 小豆(高収量の部)

【厚真支所】(農)海沼農園

面積	684a
収量	20,800kg
収量/10a	304kg

### 6 てん菜(産糖量の部)

【厚真支所】(株)渡部農場

面積	2,143a
収量	1570.97t
収量/10a	7.33t
糖度	15.9%
産糖量/10a	1.167t

### 7 メロン(高収入・高収量の部)

【追分支所】山田 晋也

収量/10a	2,603kg
収入/10a	1,477,425円

### 8 南瓜(高収量の部)

【穂別支所】長岡 定男

収量/10a	1,899kg
--------	---------

### 9 酪農の部

【早来支所】今泉 祐貴

脂肪率	4.168%
無脂固形分率	8.846%
蛋白率	3.416%
体細胞	8.2万個
生菌数	1.9千個

### 10 和牛(素牛の部)

【白老支所】中村 俊太

出荷頭数	25頭
日齢単価	去勢 3,143円 めす 2,483円

### 11 和牛(肥育の部)

【白老支所】吉田 隆三

出荷頭数	9頭
BMS	11.00
枝肉重量	491.9kg

### 12 養豚の部

【厚真支所】(有)希望農場

年間出荷頭数	4,402頭 (前年対比 109.1%)
--------	-------------------------

## 広域 第25回通常総代会を開催

4月8日、厚真町総合福祉センターで第25回通常総代会が開催されました。メインスローガンは昨今の農業情勢に打ち勝つために「食と農を支え、豊かで魅力ある地域社会の実現」と引き続き昨年と同じスローガンとなった。

開会に当たり堀弘幸組合長は「当JAの令和7年度販売実績は米価高騰が反映され、前年対比で111%、販売額が過去最高の170億円となりました。政策金利改定に伴い信用・共済事業の収益基盤強化を図ることや事業推進体制の効率化と農業生産現場の生産性向上や職員の人員確保など課題がありますが、スローガンのとおりに事業展開して参ります」と挨拶した。



▲開催挨拶をする堀組合長



▲新役員の紹介

### 【全8議案の承認】

総代総数240名の内、本人出席76名、書面議決137名の計213名で出席率88.8%。定款第41条により総代過半数の出席のため本総代会が成立した。議長は厚真地区の浅野美樹氏と早来地区の小谷暁志氏が務め、令和7年度決算及び令和8年度事業計画など全8議案が承認された。

### 【役員改選】

任期満了に伴う役員の改選が行われ、5名の理事と2名の監事が退任された。理事16名、監事5名の役員選任が可決され、女性理事として厚真地区の佐藤美奈子さんが選任された。また、女性参与として追分地区の谷口麻弥さんと石崎代里里さんが選任された。最後に退任する7名の役員に感謝状の贈呈、退任の挨拶が行われ総代会は終了した。



▲役員退任の感謝状贈呈の様子



▲議長団(左:厚真地区 浅野美樹さん、右:早来地区 小谷暁志さん)

地域話題を  
パチリと

白老

「JA春の園芸用品フェア」開催  
地域住民の「コミュニティ拠点」の  
役割を担う

4月11日（土）、白老支所は「春の園芸用品フェア」を開催した。早朝は小雨が降りしきり天候が危ぶまれたが、開場時間を迎える頃には一転して清々しい晴天に恵まれた。この天候の回復が絶好の外日となり、多くの地域住民が足を運ぶ熱気あふれるスタートとなった。

昨今の世界情勢による肥料・農薬の価格高騰が続く中、園芸フェア特別価格での販売が功をなしたのか、肥料受付には開場前から長蛇の列ができた。特に肥料の売れ行きが非常に良く、特別価格での提供が大きな魅力となった。

例年通り、組合員農家のみならず、家庭菜園を趣味とする一般来場者が多く目立った。こうした方々からは、土作りから収穫までの具体的な栽培方法に関する質問が相次いで寄せられた。職員が一人



▲肥料受付の様子



▲農業や種販売ブースの様子



▲肥料積込の様子

ひとりの作付け規模や生育不良の原因といった具体的な悩みに寄り添い、「どの肥料が最も効果的か」「防虫対策、駆虫にはどの農薬がおすすぬか」について丁寧なアドバイスをを行った。専門的な提案は非常に好評で、多くのお客様から「自分に合ったものを選んでもらえて助かった」「これでもう一度挑戦してみようと思う」と感謝の言葉をいただいた。

会場のあちこちでは、お客様同士が「去年の出来はどうだったか」「この品種が美味しかった」と栽培のコツを教え合う姿が見受けられた。

今回の園芸フェアが単なる資材供給の場ではなく、地域住民が共通の趣味を通じて繋がる「コミュニティの交流拠点」として、重要な役割を果たしていることが再確認された。

追分

「メンテナンスでつなぐ、地域農業の力」

追分ごほう共同機械 部品交換作業

春浅い4月6日、追分ごほう生産部会（大久保悟会長）は、追分旭共撰場において、ごほう共同機械の部品交換および整備作業を実施した。

当日は部員3名が参加し、グリスアップ作業や摩耗した爪の交換などを行い、約半日で一連の作業を終えた。手際よく進められた作業からは、日頃の連携の良さがうかがえる。

同部会では、毎年春先に機械の点検・メンテナンスを行い、共同機械を安全かつ円滑に利用できる体制づくりに努めている。大久保会長は「農機具の価格が高騰している中で、日頃のメンテナンスの重要性を改めて実感した。今後も部会として協力しながら、共同機械を長く大切に使用していきたい」と話した。



▲グリスアップの様子



▲爪交換の様子

ごほうの生産現場では生産者数の減少が続いているものの、こうした共同利用により、農作業の省力化・効率化が図られている。今後も部会活動を通じて、地域農業の維持・発展につながる取り組みが期待される。

早来追分

「熱戦と笑顔に包まれた一日」

追分・早来青年部合同ボウリング大会

春の訪れを感じ始めた4月2日、追分支所でも人気の恒例行事となっている「青年部追分支部ボウリング大会」が千歳フジポウルにて開催された。



▲笑顔あふれる交流のひとつ

本大会は、これから迎える農繁期を青年部盟友やその家族、追分支所職員が一丸となって乗り切るため、盟友相互の親睦と結束力の向上を目的として、毎年この時期に開催されている。

大会開始前には橋本支部長が「4年連続でボウリング大会を開催できたことを嬉しく思います。農作業の繁忙期が目前に迫っていますが、本日の大会が皆さんにとって楽しいひとときとなることを願っております。入賞を目指して頑張ってください」と挨拶した。

例年、早来青年部盟友および早来支所職員も参加しており、今回で4回目となる合同開催が実現した。青年部OBや盟友、農協職員を含め、総勢33名が参加し、支部の垣根を越えた交流の輪が広がる機会となった。



▲集合写真

競技は男女混合戦で行われ、女性にはハンデが設けられた。また、景品は第1位から第3位までの入賞者に用意され、参加者は優勝を目指し、同じレーンの仲間からの声援を受けながら熱のこもった投球を見せていた。

会場内ではストライクやスペアが出るたびに歓声上がり、和やかな雰囲気の中で交流を深める様子が見られた。大会終了後には懇親会が開催され、参加者同士で親睦をさらに深め、終始笑顔の絶えないひとときとなった。

穂別

令和8年度の活動内容について協議

とまこまい広域農協青年部穂別支部 全体会議を実施

4月3日、青年部穂別支部（石崎知知支部長）は全体会議を開催し、部員13名が参加した。

同会議は、今年度の活動について意見を募りつつ、情報交換や盟友間の親睦を深めることを目的に毎年この時期に開催されている。

今年から支部長に就任した石崎大知さん（33歳）より「皆さんと有意義な活動に出来るよう、活発な意見を出し合ってもらい、盟友一丸となって取り組んで頂きたい」と挨拶した。

会議は流送まつり、ハロウィンランタン、クリスマス・スポーツ交流会について役割分担を話し合った。また、賑やかな雰囲気の中で会話が弾み、視察研修や講習会についても、具体的な意見を聞くことが出来た。今後、提案された意見の実現に向けて毎月実施される役員会で協議を重ねていく。その後、懇親会も行われ、盟友間の親睦はさらに深まった。



▲笑顔が絶えない会議の様子



▲副支部長の星郁人さんから懇親会の乾杯挨拶

# 令和8年度 春期組合員懇談会 主要意見集約(Q&A)

令和8年3月24日・25日 出席者数:48名

## 企画管理部

- Q1.** 正職員160名目標とあるが、農家戸数が減少している中でそれはどうなのか。(白老)
- A1.** 職員数は、平成13年の合併時193名、平成23年181名、令和3年167名と減少しています。業務の本所集約化および効率化、DX化等により、6支所体制を維持していますが、160名は現状で最低限必要な人数であると考えています。
- Q2.** 女性役員の数について、今後どのような考えがあるのか？(早来)
- A2.** 令和8年度の役員改選に伴い、役員数21名のうち女性役員は3名(14.3%)へ増加しています。JAグループでは女性参画の目標を15%としていますが、皆様のご理解とご協力により、更なる参画を目指していきます。
- Q3.** 生産施設再編での新施設建設に当たって、用地取得の説明があったが、既に伐採を終えた山林等は利用しないのか。(厚真)
- A3.** 新施設の建設は、カントリーエレベーターとの運動性および作業効率を考慮し、建設場所の検討を重ねています。最終的に新施設の建設に利用されなかったとしても、原料を保管する倉庫等の建設も考えられるため、最も効率的な利用に向けて検討して参ります。
- Q4.** 組合員訪問は現在8月に実施されているが、農作業も忙しく対応できない。作業が落ち着く11月頃に実施できないものか。(厚真)
- A4.** 組合員訪問は、役員と組合員が対話する機会として実施しています。11月に入ると農外就労等で自宅を空ける方もいるため、7月～8月に開催しております。
- Q5.** 将来的に支所の集約は考えられているか。(厚真)
- A5.** 令和7年度より、苫小牧組合員の営業対応は白老および早来支所が担当しており、令和9年度からは白老および追分金融店の隔日営業を予定しています。組合員(利用)減少に伴い事業の集約化

- Q15.** RTKの利用者負担金が倍額となったが、これは他地域と比べて一般的な価格帯であるのか。またAndroidを利用した運用となつているが、iPhoneでの対応はできるようにならないか。(厚真)
- A15.** ホクレンのRTKシステムの利用料金はR8より前年の5,000円から10,000円に引き上げて頂きました。値上げ額の内、2,000円は現在使用しているRTK基地局が厚真町より無償譲渡された機械であったこと、その機械の老朽化により、今後の安定的運用が危惧されること、現在の機械の規格が古く、受信精度が劣ることから機器更新を行うこととした為です。残りの3,000円はシステム運用側のホクレンによるサーバー維持、コスト掛かり増しによる値上げとなります。一般的なRTK基地局の利用に関しては、農機具メーカー等による通信網利用が約30,000円程度、自治体や任意組合等が運用する地域では10,000円～20,000円程の価格帯であり、当JAの新しい料金も一般的な価格帯であると考えています。iPhoneによる利用については、ホクレンRTKシステムの運用上不可能です。ご了承ください。
- Q16.** RTKドローン利用に関しての登録に当たっては、金額は以前と変わりはしないか。(厚真)
- A16.** 自動操舵利用のRTKシステムはNo15回答の通りですが、ドローン利用におけるシステム利用料については、令和9年1月の本運用までの期間、無償利用としております。
- Q17.** ホクレンのRTKシステムについて、平取の基地局を受診する様になってから非常に使いやすくなっている。穂別地区のRTK利用者ほとんどが平取の基地局を活用しているが平取から利用料等は請求されないのか。(穂別)
- A17.** 他地区の基地局利用についてはあくまで利用端末の設定で、利用料金の請求は当JAからとなります。圃場の場所により近隣の基地局を利用できる点が全道的に運用しているホクレンRTKシス

と業務の効率化を進めており、組合員サービスを維持するためにご理解願います。

**Q6.** カスタマーハラスメントについて、組合員からのカスタハラが一つの原因として辞めている職員もいる中で、組合員も職員への気遣いが重要になってきている。JA側でも悩んでいる職員が相談しやすいような環境づくりをして欲しい。これからは、職員の働きやすい環境を組合員、JA共に意識していかなければならない。(穂別)

**A6.** 令和5年12月にカスタマーハラスメント対応マニュアルを策定し、顧客からの迷惑行為に対し毅然と対応する体制を構築して参りましたが、退職の一人になっているものと認識しています。今後も取り組みを継続し、カスタハラ行為に対しては職員を守ることを前提に、働きやすい職場環境を構築して参ります。

## 金融共済部

- Q7.** 隔日営業について、ATMの設置を検討しているか。また、組合員・地域住民への周知徹底をお願いしたい。(白老)
- A7.** 現状でATMの再設置は検討しておりませんが、ゆうちょ銀行やセブン銀行、ローソンATM等での無料化枠は引き続きご利用頂けますのでご了承願います。また、隔日営業に向けてはHPや広報誌、店頭掲示などを活用し周知を進めて参ります。
- Q8.** 令和9年4月から隔日営業となる場合、ネットバンクの利用増加が想定されるが、現状の手数料は高く、利用しやすいとは言えないため、料金の見直しを検討して欲しい。(追分)
- A8.** 4月より手数料の見直しを行いました。法人ネットバンク月額利用料は据え置きですが、利用増加に向けてATMとネットバンク利用による振込手数料は引き下げをいたしましたので、より一層のネットバンクご利用をお願いいたします。
- Q9.** 一般の方がJA口座を開設しようとした際、手続きに時間がかかるようだがもう少し早く対応出来ないのか。(追分)
- A9.** マネー・ロンダリング等の不正取引や金融犯罪を未然に防止するため、全道JAバンクでは令和7年11月より法人の新規口座開設には所定の審査を実施し、2週間程度お時間をいただくこととなっています。また、個人のお客様に関しましては即日新規口座開設が基本ですが、明確な口座利用目的の確認が出来ない場合は新規開設をお断りする場合がございます。金融店では日々迅速な対応を心がけておりますが、制度上ご不便をおかけする場合がございます。

## 農産部

- テムの強みです。
- Q18.** 上野の集荷場の車の出入りが整理されていないため、今後に向けて考えて欲しい。また、厚真に出荷することになると距離的に遠い方は大変になるため考慮して欲しい。(早来)
- A18.** 車の出入りについては、事故が起きないように動線を整理し、示すように致します。遠い方の搬入については、課題として受け止めており、1～2年かけて検討してまいります。
- Q19.** 施設再編について、基本的に上野に出荷することになるのか。早来で仮受けする考えはないのか。(早来)
- A19.** 施設への搬入については、効率やコストを考えると基本的には上野に直送と考えております。
- Q20.** 組合員数も減少し、一戸当たりの耕作面積も増加している。経営規模が大きくなれば収穫のスタイルも昔とは異なり、一度の搬入で大量の荷受けが必要となる。全町的にそのような傾向となれば施設処理能力のキャパを超え、作業が止まることを農家として一番懸念している。これらを加味した施設設計をお願いしたい。また、春小・秋小麦・米の収穫スパンが短くなっているが、施設受入体制の在り方により1日遅れることで降雨の影響も懸念される。体制を整えるには金銭的な問題も関わってくるが、極力職員の負担にならないようオートメーション化を図るなどスムーズな施設体制を整えてほしい。(厚真)
- A20.** 職員の労働負担の軽減と効率化を図られる様、検討いたします。
- Q21.** 新聞等で米の生産費が示された中で、米の販売価格が下がる報道も出ている。昨今の燃油高騰や肥料や農薬、資材費も高止まりの中で、JAグループとして経費が高くなった分生産物の価格に転嫁し、消費者にも納めて頂くような活動を行って欲しい。(穂別)
- A21.** 農業に係る生産資材価格上昇が経営に大きく影響を及ぼしている状況から、JAグループを通じて、食糧安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立を国に訴えてまいります。
- Q22.** 他のJAでは米の出荷形態が、紙袋・コンテナだけでなく、フレコンの半乾、全乾等様々な出荷形態があると聞く。JAとまごまい広域では米のフレコン出荷の実施しないのか。(穂別)
- A22.** 穂別支所においては、数年前に米の製品検査を実施した経過がございます。しかしながら、通常の紙袋検査と異なり倉庫事情や人的な要素を鑑み、米振興会と協議した結果フレコンでの検査は取

さいますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

**Q10.** JAバンクアプリで個人口座の内容は確認できるが、法人口座も同様に見ることは出来ないか。(厚真)

**A10.** JAネットバンクには「個人向け」と「法人(会社・個人事業主向け)」の2種類があり、個人の生活用(JAバンクアプリ)と事業資金の管理(JA法人ネットバンク)と利用目的が異なっております。なお、法人ネットバンクは月額料金がかかりますが、給与振込や複数の振込を一括処理できる総合振込機能のほか、承認機能(入力者・承認者)も設定されております。

**Q11.** JA共済で農業用ドローンの保険はないのか。(穂別)

**A11.** 当JAは、共栄火災海上保険㈱の代理店として「ドローン保険」の取扱いを行っております。新規購入時または現在ご加入の保険期間満了時に各支所共済窓口にてお見積りが可能ですので、各支所共済担当者へお問い合わせください。

## 営農部

- Q12.** エゾ鹿駆除の対策が市町村によって隔たりがあるようにおもわれる。樽前地区においては新規就農者も増えている中、エゾ鹿による被害に苦慮している。JAや自治体においても駆除に対する補助を行っているが全体頭数が減っているように思えないので、根本の数を減らす対策を検討願いたい。(苫小牧)
- A12.** 管内の市町村においては、それぞれエゾ鹿駆除対策に係る予算上限が異なり、JAと協調して行っている捕獲助成についても全ての駆除頭数を対象とする地区と、そうでない地区があります。限りある行政、JA予算ではありますが、最大限の効果を発揮できる様、今後も推進検討致します。
- Q13.** エゾ鹿対策について、北海道や国に対しての要請をどのように考えているのか。(白老)
- A13.** JAグループ全体において駆除に係る農業予算対応を第一に要請しています。また当JAからは系統組織を通じ、鳥獣被害防止総合対策交付金の内、侵入防止柵の設置支援について、業務委託が補助対象とならず、自己設置に留まっている点について、支援拡大を要請しています。
- Q14.** 下水汚泥肥料の利用について、健康被害等の危険性があるため、リスクも考えてしっかりと検討して欲しい。(早来)
- A14.** 下水汚泥の利用にあたっては、現在中長期的に検討している状況です。その中で成分検査、重金属検査等は随時行っており安

## 畜産部

- りやめといたしました。生産者のお気持ちは重々理解しておりますが、コンテナでの出荷にご理解をお願いいたします。
- Q23.** 今回の定期人事異動で畜産部から経験の長い担当者が異動となり家畜市場での購買者対応含め不安である。地区担当の引継など複数名での対応でなくては担当者の負担も大きいと思われるので、そもそも踏まえてうまくサイクルを確立し職員の育成をお願いしたい。(白老)
- A23.** 地区担当の引継や業務につきましては、複数名での対応を予定しております。新しい職員体制で出来る事を精一杯努力してまいりますので引続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 購買部

- Q24.** 燃料高騰に伴う価格や供給の情報や今後の肥料価格等の影響について情報はるか。(早来)
- A24.** 現在、報道されている内容以外に新たな情報はありません。また、燃料については、国の補助金が講じられているものの燃料価格の高騰の影響により肥料価格についても高止まりの状況が継続しております。供給面については現時点で大きな不足は生じておりませんが今後も価格変動リスクが高い状況です。
- Q25.** 資材のサイトは11月となっているが、11月になった経緯には何か意味はあるのか。(厚真)
- A25.** 11月1日のサイトについては、12月のクミカン精算等を含め設定しておりますので、ご理解をお願いいたします。
- Q26.** 中東情勢の影響を受け、JAでもガソリンや軽油の供給に支障を来しているか。またエネオスではオイルの供給が出来ないとも聞いている。農業経営では欠かせない資材であるためJAでの確保をお願いしたい。(厚真)
- A26.** 現在は、燃料等の供給には、支障はありません。また、オイル等の農業経営に不可欠な資材については、在庫数量の確保・増強を図るなど、安定供給に向けた対応を実施してまいります。

さんさんかがやけ  
期待の農力



楽しむことを忘れず、  
農業に励む



いのし 猪師  
あゆむ 歩夢さん(24歳) 厚真町豊沢

実際に就農して

幼いころから家族と共に農作業を手伝っていたことが影響し、農家になることを志した。そして兄弟たちはほかの仕事をめざしたこともあり、20歳にして実家で農業を営むことを決意した。

就農のきっかけ

2002年4月11日に父・隆行さんと母・恵さんの間に三男として生まれる。岩見沢農業高校を卒業後、農業大学へ進学。2年間水稲関係について学び、令和5年に地元の厚真町豊沢に就農した。4年が経った現在、父・隆行さんと共に水稲、小麦、大豆、小豆、ヒート、南瓜、サツマイモを生産、歩夢さんはハウス管理や防除全般などの作業を担っている。

趣味

最近では魚釣りにはまっていると話す歩夢さん。釣りのために遠出をすることもあり、運転をするのは苦にならないそうだ。農繁期にも作業の合間を縫って釣りに行きたいと熱中している様子であった。また、2023年に結婚した妻・実生さんの影響もあり邦ロックバンドのMAN WITH A MISSIONにはまっているなど仕事以外にも楽しんでいる。

今後の目標

「自分で作業の計画を立てたり、自分で考えて仕事をできるのは性にあっていて。水田の土壌処理や防除処理について試行錯誤しながら作業するのは楽しい」と歩夢さんは語る。農作業が幼いころから身近だったこともあり苦ではなく、むしろ楽しみながら仕事に励んでいる様子だ。

家族と協力しながら経営を拡大していく意思を示す。そのために積極的に機械化を進め、新技術も取り入れながら作業の効率化を行うと話した。また、いずれは経営移譲ができるように父の背中から学び、日々の仕事を楽しみながら努力すると熱意を感じた。

理事会報告

令和8年3月10日(火)に総合営農センターで第2回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 管理委員会の結果報告について
3. 生産委員会の結果報告について
4. 経営定期点検の結果について
5. JAバンク基本方針の変更について
6. JAバンク内部管理態勢構築にかかる指針変更の取り進めについて
7. 第1回経営指導委員会について



1. 令和8年度固定資産売却基本方針(案)について
2. 食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に関する組織討議の意見徴収について



- 議案第 1 号 乳用牛登録料金の改定について  
 議案第 2 号 令和7年度部門別損益結果と自己資本比率について  
 議案第 3 号 令和8年度要員計画および令和9年職員採用について  
 議案第 4 号 令和8年度の余裕金運用について  
 議案第 5 号 令和8年度事業計画及び収支予算案、見積貸借対照表の承認について  
 議案第 6 号 第25回通常総代会の開催について  
 議案第 7 号 第25回通常総代会議案について  
 議案第 8 号 不良債権の処理方針について  
 議案第 9 号 要対策組合員の営農計画書の承認について  
 議案第 10 号 総合農協監督指針の改正に伴う「3つの方針」について  
 議案第 11 号 令和8年度人事労務基本方針について  
 議案第 12 号 役員選任規程および役員定数等審議会規程の一部変更について  
 議案第 13 号 総代選挙の実施について

共済一斉推進のお知らせ

JAとまごまい広域では、長期共済の一斉推進を右記の日程で行います。期間中に職員が訪問し、皆様のライフプランに最適な保障をご提供させていただきますので、ぜひご検討下さいませようよろしくお願いします。

- |       |                 |             |
|-------|-----------------|-------------|
| ①白老支所 | 5月21日(木)~22日(金) | (苫小牧西部地区含む) |
| ②早来支所 | 6月 3日(水)~ 5日(金) | (苫小牧東部地区含む) |
| ③追分支所 | 6月 3日(水)~ 5日(金) |             |
| ④穂別支所 | 6月 8日(月)~ 9日(火) |             |
| ⑤厚真支所 | 6月17日(水)~19日(金) |             |

# 退任役員のご挨拶

本年度の総代会において、任期満了に伴う役員及び参与の改選が行われました。とまこまい広域農協を支えてきた役員の方々に退任にあたってのご挨拶をいただきました。

平成23年から早来地区理事6年、代表監事9年、15年間役員として勤めさせていただきました。この間役員として組合員の利益・農協の発展に寄与できたか自問自答するところですが、合併以来進んでいながら早来地区の大型不良債権問題を、当時の秋谷組合の下で処理出来た事は早来地区の役員として肩の荷が軽くなったとほっとしたところです。また、様々な問題が発生しましたがたまたま発生した不祥事。組合員代表訴訟など予想されていなかった事案も多く、時間と費用を費やさずとたこととは残念なことでしたがこのことを契機に内部監査室体制の充実、内部統制の整備が図られ農協改革の確実な前進につながると確信しています。当組合は、現在計画が進められている新しい施設の建設、人材の確保、生産力を底上げ等様々な課題を解決していかねばならない課題を多く抱えています。直の世界的な問題として中東情勢の悪化による原油供給の不透明になる石油由来の資材価格の高騰、品不足など全く先が見通せない状況下ではありますが、組合員がやるべき事を農協が果たすべきことの役割を明確にして相互扶助の精神の下、組合員役職員一体となって知恵を絞るながら、関係機関の力を借りながら乗り越えていかなければなりません。結びになりますが、ウクライナ、中東紛争が解決し、様々な事項が紛争以前の状態に戻る事ができるよう、また、皆様のご健康、組合の発展を祈念し退任挨拶いたします。15年間お世話になりました。



(前)代表監事(早来) 内藤 順介



(前)白老・苦小牧地区担当(白老) 竹田 克市



(前)白老・苦小牧地区(白老) 齋藤 正



(前)安平地区(早来) 梅田 鋭敏



(前)安平地区(早来) 小谷 正芳



(前)安平地区代行(追分) 西島 隆行



(前)監事(員外) 伴辺 久子

この度、任期満了に伴い、とまこまい広域農業協同組合白老地区担当理事を退任することになりました。在任中は、組合員の皆様をはじめ関係各位の温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、振り返れば、4期12年の役員在任中には、農畜産物価格の低迷や胆振東部地震、集中豪雨による水害、異常気象による農作物への影響など自然災害への対応もありませんか。また、担い手不足などへの対策など、地域農業を取り巻く環境が大きく変化の中で、微力ながら組合運営に携わってまいりました。今後は一組合員の立場から引き続き本組合の取り組みを見守り、支えていきたいと考えております。結びに、これまでお世話になりました皆様のご健康と、とまこまい広域農業協同組合のさらなる発展を心よりご祈念いたしまして退任のあいさつとさせていただきます。

本年4月8日の総代会をもちまして、三期九年間の理事を退任致しました。在任中、役員および農家の皆様にお世話になり深く感謝とお礼を申し上げますとともに、貴重な意見や考え方を多くを勉強する機会を得ました。人はともすると当たり前のことを忘れてしまいがちですが、在任中に気づいたことを記して退任のご挨拶と致します。農家の経営内容や環境や背景を考えると、取組のみで判断してはいけません。農家をつづぐことは組織の役割であり、その能力の欠如とみなされず、血肉の伴った指導、助言を行ってまいりました。農家の皆さんは本職で、感活動力を持って、それをうまく引き出すことを忘れてはいけません。専門的能力を有する職員との連携と、農家にこたえないで、十分なサポートが、十年後、二十年後の具体的なソリューションを引き付けるべきです。いい意見、考え方は必ず後世に引き継ぐべきです。循環、持続、共生、成長、拡大、競争、何がどうなのか考えてみませんか。

私共は、旧早来町時代に、地元の方々の推選を受け、瑞穂安平地域の役員として、その任を引き受けたのが、JA役員の仕事でありました。また、JA役員と同時に農業委員の推選をいたしました。はじめは、私共のようなものがそれぞれの役割をこなして行けるかと悩みました。しかし、考えてみると、国民の大事な食料を生産し、農民としての心構えも同時にこなすには、自分自身を成長する足場ができたがゆえにその任にあたるのが大事であると意思のもと、これらの役割をやりきることに努力を重ねてまいりました。組合員の皆様の温かいご支援のもと、今日まで数年にわたるその役目をこなすことができたのは、今思えば組合の皆様はじめ多くの方々の御支援のおかげで今日までその任に当たることができました。今日のように世の中は農業問題ひと扱って大変な時代であり、農家の皆様は、新役員として、今日まで役員生活で学んだことを活かして微力ながら地域貢献していきたいと思っております。

4月8日の総代会をもちまして早来地区理事を退任いたしました。この7年間、役員の方々、組合員の皆様のお力添えにより任期を全うすることができました。ありがとうございました。とりわけ農協職員のみならず、農家の皆さんに感謝申し上げます。近年の農業を取り巻く情勢は、経営の安定、収量の安定、増大、また、貯蔵・出荷の面でも、知恵と大変大きな努力・工夫が求められています。農協が果たすべき役割、すべの組合員・職員の認識として徹底することが、何より大切なことではないでしょうか。総代会の出席率が、ロクナ以降下がって悪いことは、打開すべき大きな課題だと思っております。私自身これからは、農業経営者として、そうした認識の上に、多少なりとも地域や社会に貢献できるように努めてまいりたいと思っております。結びにあたって、組合員、職員のご健康をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

時が過ぎるのは早いもので、気がつけばあとという間に6年という月日が経ちました。当初は初めての事は、不安な日々が続きましたが、理事等々との会議に出席し、役員の方々と会話を交わすことで次第に雰囲気にも慣れ、当初心配していた不安はいつの間にか消え去っておりました。農協理事という役割は確かに大変な面もございます。今立ち戻らなければならない問題、また数年先に起こるであろう諸問題に対して色々な外的要因、例えば近年のコロナ禍、紛争、気象変動など、正解はないと思いますが、役員、また組合員の皆様と知識と経験を共有し、様々な視点から諸問題を考察する事によって限りなく正解に近い最適解を導き出していくものだと実感致しました。今まで農協を外から見ると立場から一転、内から見ると、いかに貴重な経験させて頂き大変ありがたうございました。末尾ではございますが、ご一緒させて頂いた理事や職員皆様へ改めて感謝申し上げますとともに、今後ともとまこまい広域農業協同組合が時代の変化に即応出来る組織であることを御祈念いたしまして退任の挨拶に代えさせていただきます。

在任中は公私ともにひとかたならぬご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。R8年度熱望していた女性の理事が2名誕生したことを大変うれしく思っています。(国は農林水産業の持続発展のために女性活躍は重要と推進してまいりました)次は職員の女性管理職が増える事を期待しています。朝早くから農作業をして会議に出てこられる役員さん、参与さんには頭が下がりました。私は、他の協同組合の理事は13年経験しましたが、役員外監事というのには初めてでした。力不足だらけだと思いましたが、役員、組合員皆様のご協力をいただき、2期6年続けていく事が出来ました。又、研修会、組合員懇談会などで農業のわからないところが分かる楽しさもありました。私の所属する消費者協会は昨年60周年を迎えました。先輩の繋いできた活動のおかげで昨年は、米不足を心配しないで厚真の美味しさがさらされた。頑張っている人に頑張っているのはあなたとわれわれですが、JAの皆さん今年も問題が多くなると言われていますが、頑張ってください。子供たち孫たちが安心してこの地域で暮らしていけるよう日本の農業を守りましょう。私たち消費者も頑張ります。(員外から先日准組合員の仲間入りしました)

# とまこまい広域農業協同組合 新役員と参与紹介

任期満了に伴い、第25回通常総代会において役員及び参与改選が行われました。とまこまい広域農業協同組合は、新しい体制で動き出します。

## 業務執行理事



代表理事組合長(厚真) 堀 弘幸(66歳)



代表理事専務(厚真) 石橋 公昭(63歳)

## 理事



白老・苦小牧地区担当(苦小牧) 寒河江一富(73歳)



白老・苦小牧地区代行(白老) 堀部 豊美(58歳)



安平地区担当(早来) 金川 幹夫(64歳)



安平地区代行(追分) 中道 幸夫(70歳)



安平地区(早来) 大井 弘美(67歳)



安平地区(追分) 安井 貴志(55歳)



厚真地区担当(厚真) 堀田 昌意(44歳)



厚真地区(厚真) 小谷 和宏(63歳)



厚真地区(厚真) 山崎 基憲(51歳)



穂別地区担当(穂別) 中澤 浩(65歳)

## 女性理事



(厚真) 佐藤美奈子(66歳)



穂別地区(穂別) 藤江 政利(69歳)



学識経験 常務理事 松原 正明(65歳)



学識経験 信用理事 中村 賢樹(57歳)

## 監事



代表監事(厚真) 齊藤 義幸(59歳)



監事(早来) 富樫瑛一朗(39歳)



監事(穂別) 菊地 英智(65歳)



常勤監事(学識) 服部 啓三(66歳)



監事(員外) 滝本 晴美(70歳)

## 女性参与



(追分) 谷口 麻弥(52歳)



(穂別) 石崎代里子(63歳)

※年齢 R8.4.1現在

# さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

## かぼちゃの省力多収栽培と 長期安定出荷技術 (令和7年度指導参考事項の紹介)

直播・密植・無整枝放任栽培で品種・増肥・収穫後の乾燥を組み合わせることで、高収量が期待できます。今年の栽培にご活用下さい。

### 1 品種

「グラッセ（タキイ種苗）」と「黒船ハマー（サカタのタネ）」は、令和5年の異常高温でも標準品種（えびす、ケント）並みの高収量を確保した。

「グラッセ」は、うどんこ病耐病性を持つことから無防除条件下でも収穫期まで茎葉が維持され、日焼け果の発生も抑えられる。

「黒船ハマー」は、過酷な栽培条件下でも高収量を維持できる。肉厚で内部のワタが少なく一果重が重い。



写真1 「グラッセ」



写真2 「黒船ハマー」

### 2 増肥

増肥によって収量は増加傾向である。品種によっては窒素1.5倍量で頭打ちである。「黒船ハマー」は窒素2倍量でさらに増収する。

### 3 収穫後の乾燥

温度が高く、外気が流入しない倉庫などで保管する場合、扇風機などにより常時送風することで腐敗を抑制できる。ただし、15℃以下になる場合、果実に風が当たらないように、送風停止や遮風（カーテンやネット）をする。

省力多収栽培	品種	「グラッセ」、「黒船ハマー」	
	窒素施肥量	施肥対応量の1.5倍 ※本試験では緩効性肥料を30%もしくは50%の割合で使用	
その他	直播、密植※、無整枝	※本試験では1,000株/10a	
	「グラッセ」は収穫が遅れると腐敗果率が高まるので適期に収穫すること		
収穫後 (キュアリング不要) 7~14日間	施設	常時解放され風通しのよい 雨よけハウスなど	温度が高く、 外気の流入がない倉庫
	処理	送風不要	常時送風
		ただし、果実表面の温度が 15℃以下になる場合は カーテンやネットで遮風する	ただし、果実表面の温度が 15℃以下になる場合は 送風を停止する

図1 省力多収栽培と長期安定出荷技術による収益性向上技術

※写真、図は令和7年度指導参考事項より引用

## とまこまい広域農業協同組合「機構図」(令和8年4月1日改正案)

